

CASBEE® 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル：CASBEE京都-新築（2015年版）|使用評価ソフト：CASBEE京都-新築2015（v.1.0）

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	大和ハウス工業株式会社 京都支社新築工事	階数	地上4F
建設地	京都市伏見区竹田浄菩提院町 315、316番地	構造	S造
用途地域	第2種住居・商業地域、準耐火地域	平均居住人員	350 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年9月 予定	評価の実施日	2017年12月22日
敷地面積	2,932 m ²	作成者	大和ハウス工業株式会社京都支社
建築面積	1,742 m ²	確認日	2017年12月22日
延床面積	6,251 m ²	確認者	大和ハウス工業株式会社京都支社



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5 ★★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.1

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 3.5

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合	4階屋上に庭を設けることで自然採光が得られるとともに、利用者のリフレッシュスペースになるよう計画した	その他 特になし
Q1 室内環境	内装材はほぼ全面的にF☆☆☆☆を使用	Q3 室外環境 (敷地内) 外構緑化指数=50%以上
LR1 エネルギー	太陽光パネルの設置による創エネ	LR3 敷地外環境 LCCO ₂ 排出率=80%
Q2 サービス性能	耐用年数の長い部材を採用	
LR2 資源・マテリアル	節水器具の採用により水資源の保護に配慮	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される